









子宮頸がん治療開発マップ 2018.2.

※特殊組織型（小細胞癌など）を除く

対象	標準治療	JCOG試験	他組織の試験	主な未承認薬/適応外薬		
Stage IA	単純 or 準広汎 or 広汎 子宮全摘術 					
Stage IB1	 広汎子宮全摘術	JCOG1101 腫瘍2cm以下に対する 準広汎子宮全摘術 2017.8 →2022.8 				
Stage IB2	術後再発リスク群 広汎子宮全摘術 + (同時化学) 放射線療法 ¹⁾  (同時化学) 放射線療法 ¹⁾	JCOG0102 術前化学療法 2004. 11→2005. 4 	JCOG1402 (放射線治療グループと共同) 術後再発 高リスク群に対する IMRT-同時化学放射線療法 ¹⁾ 2017.1~ IMRT：強度変調放射線治療 	JGOG1067 骨盤リンパ節陽性 術後 イリノテカン+ ネダプラチン (Phase II) 10.1~11.12 →17.11最終解析 JGOG 術後再発中・高リ スク群に対する 術後補助シスプラ チンCCRT vs. TP or TC (Phase III) 計画中		
Stage IIA						
Stage IIB Stage IIB (bulky)						
Stage III			GOTIC002 初回CCRT後 Consolidati on UFT 2010. 5~ 初回(同時化学) 放射線治療時の Z-100 追加検証： 2004. 9~ →2013.3	JACCRO GY-01 TP-CCRT Phase II 09.12→15. 11		
Stage IVA			JGOG1066 シスプラチ ン-CCRT PhaseII →12.8			
Stage IVB	局所治療で制御 可能	JCOG0505 局所治療で制御不能 TP療法 vs. TC療法 ~2009. 11→2011. 12 	JCOG1311 Tri-TC±Bev vs. ddTC±Bev (Phase II/III) 2015.10~ 	局所治療で制御不能 GOG204 →TP療法 GOG240 →TP療法+ベバシズマブ		
再発	手術 または (同 時化学) 放射線 療法 ¹⁾	TP療法・TC療法 等の化学療法±ベ バシズマブ* また は 緩和治療	シスプラチン vs. S-1+シスプラチン →最終解析終了			

1) 同時化学放射線療法(CCRT)：化学療法(標準はシスプラチン 40 mg/m²/w 5-6回投与)と外部照射(全骨盤照射)±腔内照射の同時併用
 TC：パクリタキセル+カルボプラチン、Tri-TC：3週毎のTC、ddTC：パクリタキセル1週毎、カルボプラチン3週毎に投与するTC
 TP：パクリタキセル+シスプラチン
 * 2016年5月 本邦でもベバシズマブ (Bev)が子宮頸癌に適応拡大となっている